

⑥新宿 <千代田町>

人口 185 人、世帯数 62 世帯

新宿地区は、旧長崎街道沿いの境原宿と神崎宿の間に位置する合宿で、城原川堤防の西側に集落が並び片側宿でした。江戸時代の「伊能忠敬の測量日記」やその他数々の長崎街道に関わる旅行記によると蓑の名産として知られ、家々に蓑を作り売る様子が記されています。(佐賀街道、川上茂治著より)

私たちの地区では、「子は宝、お年寄りを大事に」をモットーとして子どもを守るパトロール隊を結成、また、子どもと一緒に正月用のしめ縄づくりなどを行っています。夏休みのラジオ体操も一般の方を交え、元気に頑張っています。



▲夏休みのラジオ体操

⑤小津ヶ里 <神崎町>

人口 1,009 人、世帯数 313 世帯

小津ヶ里地区では、毎年櫛田神社の春祭りには、しめ縄を作り、奉納しています。

いづろから始まったかは定かではありませんが、しめ打ちといって、男性だけでしめ縄を作って奉納し、村の安泰を祈願する郷土芸能的な行事です。まず、櫛田宮の一の鳥居に入念に飾り付けをし、本殿、祇園社、社務所、手洗い場など5箇所にそれぞれ飾り付けをする大変な作業です。これからも永年の伝統の灯を守り続けるために、みんなで協力しながらがんばっていききたいと思えます。また、今年の櫛田宮みゆき大祭には、地区からも大勢の参加があり、祭りを盛り上げました。



▲櫛田神社 (しめ縄の飾りつけ)

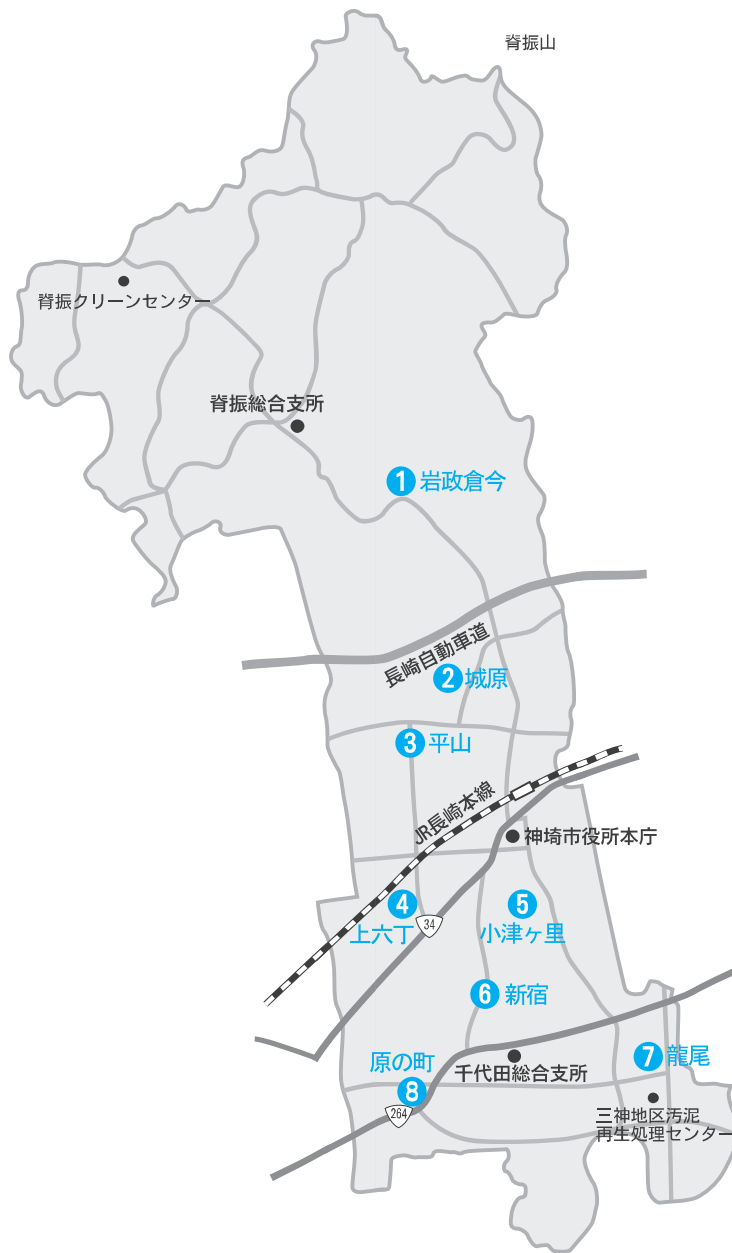
地区紹介 7



市民相互の理解と融和を図るため、市内121地区(神崎:63地区、千代田:49地区、脊振:9地区)を紹介しています。

今回は、8地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成20年8月末日の住民基本台帳のデータです



②城原 <神崎町>

人口 347 人、世帯数 158 世帯

城原は、日の隈山の北東に位置し、菅生、城原、北外の小集落からなる自然豊かな地区です。地名の由来は、「城」がたかくさんあったので、それに「原」をつけたものと考えられています。地区内にある勢福寺城(城山)は、貴重な城跡です。

地区の行事は、2月には、「趣味の作品展」、4月には、戦没者および前年度の物故者を供養する「法供養」、9月には、地区最大の行事「きばるさい(城原祭)」があります。「きばるさい」は、今年、15回目の記念大会が行われ、地区にちなんだ「〇×クイズ」を目玉として行い、大変盛り上がりしました。



▲「きばるさい」じゃんけん大会

①岩政倉今 <脊振町>

人口 222 人、世帯数 76 世帯

私たちの地区は、「神崎市」誕生と共に岩屋・政所・倉谷の3集落が一緒になり、「岩政倉今」となりました。地区は、脊振町の南部(脊振町の入口)に位置し、県道三瀬神崎線と城原川に並行しています。

地区内には、広滝第一発電所(九州最初の発電所)があり、脊振山を源とした城原川、白木川の水を取水し、明治41年10月に建設され、現在は、この電力を、地元のほか、川上発電所を通じて佐賀方面に送電されています。

最近では、倉谷川にたぐさの蛭が飛ぶようになり、近くを通る人々を楽しませてくれています。



▲九州初の「広滝第一発電所」

⑧原の町 <千代田町>

人口 381 人、世帯数 127 世帯

原の町は、市の南西部に位置し、旧長崎街道の宿場・蓮池往還・上佐賀道の分岐点として古くから栄え約150戸の商家や民家の街並みを形成していたそうです。(明治7年の佐賀の乱により全焼)

歴史的背景から住民の大部分は、非農家となっています。

地区の主な行事は、7月の(若宮神社)祇園祭・納涼大会で、毎年、盛大に行われます。また、地区では、「元気な原の町子育て協議会」を立ち上げ、「土曜学校」や「アサザ観察」など、子育て支援を通して地域の環境・教育の進展を図っています。



▲土曜学校

⑦龍尾 <千代田町>

人口 92 人、世帯数 20 世帯

龍尾地区は、千代田町の南東、田手川の東に位置し、みやき町(旧三根町)に隣接しています。385号線の開通により、日常生活は大変便利になり、それに伴い交通量も多くなりました。

地区では、春・秋に地区のお宮でおこもり、お祭りをし、毎年8月9日には子供祇園祭(豆茶講)が行われ、地区の伝統行事及び自主的に子どもたちの清掃活動、親子でそうめん流しや食事会を行い親子の交流を深めています。また、地区では昭和54年から現在まで毎月25日に定例会を開き、地域のひととの絆を深めると共に、区長・役員との連絡を行っています。



▲親子でそうめん流し

④上六丁 <神崎町>

人口 92 人、世帯数 28 世帯

上六丁は、西郷地区の真ん中に位置し、今年創立100周年を迎える西郷小学校があります。

地区の真ん中に鎮座するお宮さんの鳥居は、安政、灯籠は、安永の文字が刻まれています。本殿の奥には、学問の神様「菅原道真」公と伝えられている木彫りの像が祀られています。

お宮さんの祭りは、7月の子どもを中心にした祇園さん祭りとして12月第1日曜日の霜月祭りです。祭りの直会は、少しずつ形を変えながらも、子どもから大人まで、地区あげての一大イベントとなっています。先人たちが集落の「和」と「協力」を維持するための知恵と教養を今後も守り続ける努力をしていきたいと思えます。



▲祇園さん前の畳干し

③平山 <神崎町>

人口 248 人、世帯数 105 世帯

平山地区は、市道大町橋~日の隈線、県道川久保鳥栖線に囲まれ、北には、日の隈山、日の尺池、西九州大学、日の隈公園があり、緑の多い景観で住みよい地区です。

昔からの伝統的な行事として、天満宮(お宮さん)の農作物の豊作、家内安全の祈願祭が続いています。また、12月23日には、子どもクラブ、老人クラブを囲んで餅つき大会、ぜんざい会をして親睦を図っています。

地区では高齢化が進んでいますが、皆様のご協力でごみのない美しい地区を目指し、草刈り、水路の清掃など環境保全と美化活動に地区住民全員参加で取り組んでいます。



▲餅つき大会